

社協だより

SAIKI SHAKYO 編集・発行 社会福祉法人 佐伯市社会福祉協議会
E-mail/sashakyo@saiki.tv HP/http://www.sashakyo.or.jp

1.15

2014 No.48

〒876-0844 大分県
佐伯市向島 1-1-3
社協会館「きすな」
TEL0972-24-2956
FAX0972-22-9031



↑少ない資材(段ボール・ビニール袋)と少量のお湯ででき、睡眠の促進、血流改善効果も高く、被災地でも喜ばれた活動です。ご家庭でもできます。



←災害ボランティアセンターの受付では、迅速に対応することが大切。訓練では細部にわたり何度も確認作業を行いました。

災害ボランティアセンター 設置・運営訓練 実施しました。

日頃から地域に密着した活動を行う社協らしさを活かし、被災後にいち早くセンターを設置します。

昨年11月24日(日)社協上浦支部を中心に災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました。当日は佐伯市社協の職員だけでなく、地域のボランティアの方々、宇佐市、竹田市、延岡市社協の職員の参加もいただき、総勢77名での訓練となりました。

訓練ではボランティア役とセンター運営役に分かれ、それぞれの立場で活動を行いました。

初めて参加した人が多く、「土地勘がある人がいないと大変」「テレビでしか知らなかったことを体験できて良かった」「研修で覚えたことを実践できて良かった」といった声がありました。より効果的な運営ができるよう、訓練を重ねていきます。





2014年
地域で
頑張っている

インタビュー

としおとこ

としおんな

年男&年女



おでかけ
カメラ No.04
特ダネを探しに佐伯のあちこち取材します。

何度迎えてもやっぱり、希望と期待に胸が弾むお正月。2014年、平成26年は「午（うま）年」。新しい年の初めにあって、今年の抱負や夢をノートに書いたり家族で話し合ったりするのもいいですね。

今回は、地域で頑張っている午年生まれのお二人に直撃インタビュー！ 皆さんそれぞれに、この1年への思いを語ってくれました。

魚釣り授業の先生として活躍中

東雲小学校にある観賞用水槽へ定期的に新鮮な魚を届けています。



子どもたちと釣り竿づくり。



松田 賢一さん
【佐伯市上浦在住】

■昭和17年生まれ(71歳)



心にかけていること
楽しいことだけでなく、海の怖さというものをしっかりと伝えながら、海とともに生活するという喜びを伝えられるように意識しています。

今後の目標を聞かせて下さい

とにかく健康維持に努め、これまで同様に、子ども達と一緒に上浦の海の楽しい思い出を作っていきたいです。

活動を始めたきっかけは
東雲小学校の校舎を建て替える際に、当時の町長が、上浦の海を身近に感じて欲しいという思いから小学校に水槽を作った。水槽に入れる魚が欲しいとの話があり、引き受けることにした。

やって良かったなあと思っていること
魚の提供をきっかけに、魚釣り授業の先生も務めるようになりました。

もともと子どもが大好きで、自分が生まれ育った上浦の海の素晴らしさについて授業等をおして伝えられることに幸せを感じています。



山崎 絵美子さん
■平成2年生まれ(23歳) 【佐伯市長島町在住】

福祉体験の先生として活躍中

子ども達に福祉の心を伝えたい

活動の内容は
「しろやま企画」のメンバーとしてアイマスク体験や車いす体験などの講師として佐伯市内の学校を回っています。

「しろやま企画」とは？
私がまだ小さい時、母が「子どもたちに福祉について教えたい」と思い、立ち上げた団体です。母と同じ思いをもつメンバーと共に福祉体験の講師として活動しています。

活動を始めたきっかけ
幼稚園教諭と保育士資格を取得しており元々子ども達に教える事が好きで、なおかつ

自分の勉強になると思い活動に参加するようになりました。

良かったと思う瞬間は？

福祉体験後に子ども達が感想を言ってくれるのですが、「目の見えない人の大変さがわかりました」や「困っている人がいたら助けたいと思います」と言った言葉が聞けた時です。

子どもの時にした体験は大人になっても残っているものです。大人になった時、相手の立場にたって考えることができる人になってもらえたらと思っています。

今年の目標は？

しろやま企画の活動やボランティア活動にもっともつと参加して子ども達に福祉の心を伝えていきたいと思っています。

白杖を使って、上手に歩けるかな！？



アイマスクの福祉体験を指導中

年頭所感



佐伯市社会福祉協議会
会長 能瀬 義朗



新しい年のはじめのご挨拶申し上げます。
本年もよろしくお願ひいたします。

テレビのニュースや新聞を見ると連日、失業、貧困、孤独死、被災地の困窮、放射性物質の飛散など、人びとの生活に関わる諸問題が報道されています。

さらにわが国は、これらに限らず非正規雇用の増加、ネットカフェ難民、ホームレス、孤立や孤独、子どもや高齢者の虐待、子育て不安など様々な生活問題も抱えています。

このような状況は、一見すると長期にわたるデフレ、企業の海外移転、派遣切り、少

子高齢化などの結果であるようにみえます。しかし、こうした要因は、それだけではなく、終身雇用、年功序列賃金、企業福利、家族や地域社会による相互扶助などによって成り立っていた日本型生活支援システムの崩壊によるものであると福祉研究者より指摘されています。

こうした変化と重なって進行した少子高齢化の波は、家族の構造と機能を大きく変化させました。少子家族、夫婦のみ世帯、高齢者世帯、単

身生活者の増加、生涯未婚者、母子家族が増加し、家族のケア機能が低下しています。ストレスと緊張が高まり、逃げ場のない生活のなかで子どもや高齢者の虐待が増加しています。

一方、かつて日本型福祉社会を支える要素として期待された地域社会は、今日では限界集落、限界団地、さらには限界自治体と呼ばれるような危機的な状況におかれています。

このような無縁社会が全国に広がっていますが、残念ながら、わが国の社会福祉や社会保障は、このような日本社会をその根本から揺るがすような生活問題には適切に対応する手段とはなりにくいと言つても過言ではありません。

今こそ枠組みそのものの再構築を国民全体で検討し、一点ずつでも改善を図るべき状況にいますが、そのためには社会福祉協議会で果たすべき役割があるのではないのでしょうか。

大きな市の小さな物語

私たちの住む佐伯市は九州で一番大きい市です。
そんな大きな市の中で起きた小さな物語。

思いがけぬ親切に
ありがとうを伝えたい

つい最近のことです。私は用事を終えバスに乗ろうと、普通に歩いて20分位のところを走りながら、バスに間に合いませんでした。「どうしようかな?」と思つて立つてみると「そのバスなら今出たで」と教えてくれた方がいました。「そうですか・・・」次のバスに乗るには、1時間40分も待たなくてはなりません。その方が言いました。「僕が住んでいるところまで乗せてあげようか?」

それは立派そうな方ではありませんでしたが知らない方ではあるし一度はお断りしました。しかし1時間40分も次のバスまで待つのも辛かったし、結局お言葉に甘えて自宅まで送ってもらいました。

世の中、こんなに親切な方がおられるかと後々もありがた涙が出てきます。どこのどなたか知りませんが、その節は大変ありがとうございました。改めてお礼申し上げます。

【中山区 だめばあさん 74歳】

我が家の珍ルール!

お正月に雑煮に飽きたら、味噌汁にあんこ餅を入れて食べます



(佐伯 聖田の人)

えええー! やってみます…



感動物語、かわいい物語、うれしい物語、大笑いする物語、悲しい物語など、身のまわりで起きた出来事を聞かせてください。

「我が家の珍ルール」・「大きな市の小さな物語」
おハガキ、封書、メール何でもOK (住所・氏名・連絡先をお忘れなく)

【宛先】 〒876-0844佐伯市向島1丁目1番3号
佐伯市社会福祉協議会内 広報係
TEL:23-7450 Eメール sashakyo@saiki.tv

【募集期間】 2月14日必着。
【応募作品について】 厳正なる審査のうえ社協だより3月1日号に掲載予定です。尚、採用された方には佐伯市社協イメージキャラクター「ひとしずくちゃん」のエコバックをプレゼント。

香典返し

(住所)	(寄付者)	(故人)
代後区	坪根 由典様	豊彦様
大手町	小野 弘子様	幾太郎様
常盤東町	増村 節子様	貞一郎様
福岡市	東定喜美子様・上田英子様	松本チエ子様
西中区	井上 照子様	清一様
川原区	山本 了一様	タガ様
泥谷区	井上サチ子様	一郎様
塩屋区	渡辺 富治様	師様
北中区	福島 秀樹様	秀隆様
若宮区	山下 隆貴様	好子様
中山区	高司ミキ子様	洋一様
女島区	山本 達夫様	ソヨ様
小島区	御手洗 弘様	幸太郎様
常盤南町	吉岡 俊子様	鉄朗様
津井浦	坪根 末明様	伴作様
浅海井浦	吉岡 林様	モト様
浅海井浦	安部 行智様	京子様
床木	御手洗 剛様	ユキエ様
尺間	篠原 直一様	マキエ様
小田	山口 勝廣様	博様
三股	高田 種幸様	チヨ子様
因尾	平山 秀司様	孝雄様
千束	緒形 明洋様	邦元様
横川	後藤 憲治様	キン子様
沖松浦	清家 愛子様	牧治様
北九州市	下松 信也様	則文様
浦代浦	池添 勝様	ミチヨ様
色利浦	米澤スワ子様	音吉様
小浦	加嶋しよ子様	幸男様
浦代浦	米沢 清司様	フジエ様
西野浦仲川原区	日高 啓一様	イセ子様
中野東区	河野廉次郎様	以知江様

(住所)	(寄付者)	(故人)
谷川区	山口 準司様	耕司様
塩内区	團塚 久生様	清一様
興人区	近藤 一豊様	和行様
塩屋区	平野 俊明様	作様
稲垣区	橋本タエ子様	潤田ヒサ子様
上岡区	市野瀬善之様	白様
下久部区	山田 晃様	美砂子様
浅海井浦	富高 徳大様	武光様
床木	御手洗フジ子様	政志様
堂ノ間	川野 誠朗様	為喜様
塩見園	志賀 元春様	一枝様
吹浦	芦刈 利夫様	サタエ様
森崎浦	戸高 洋昭様	勲様

一般寄付

鶴岡町	カラオケ健唱会様
大分市	大分県福祉ハッピー歌謡祭実行委員会様
地松浦	岡崎 敬二様
常盤南町	青山 憲一様
鶴岡町	カラオケステージさくら様
畑野浦	畑野浦グランドゴルフ愛好会
小野	哲徳様

物品寄付

大平	瀬戸 明人様	車椅子 2台
小野市	首藤 幸市様	新米 60kg
大分市	大分県商工会	車イス
	女性部連合会様	

寄付のお礼

平成25年10月26日から12月13日までの間に次の方々より、
ご寄付をいただきました。
紙面掲載にてご報告のうえ、心より厚くお礼申し上げます。

無料

民生委員による **心配ごと相談会**
ひとりで悩まず、どんな事でもご相談ください。

担当支部	日付	時間	会場
佐伯	2/5(水)	13:30~16:00	社協会館「きずな」
	3/5(水)		
蒲江	2/19(水)	9:00~12:00	蒲江地区公民館
	3/19(水)		

無料

弁護士の法律相談

要予約

相談人数に限りがあります。

日付	時間	弁護士	会場
1/16(木)	13:30~16:00	西山 巖	社協会館「きずな」
2/5(水)	13:30~15:30	三井嘉雄	
2/20(木)	13:30~16:00	渡辺法律事務所	

■お問合せ：社協会館「きずな」(TEL.23-7450 担当 / 岩崎)

生活福祉資金(教育支援資金)のお知らせ

社会福祉協議会では進学・在学にかかる経費への貸付制度を取り扱っています。
低所得世帯・生活保護世帯の方の高等学校以上の修学・入学に際して必要な費用を対象
にしています。ただし、日本学生支援機構、大分県奨学会、母子福祉資金等の公的資
金の申込が優先となります。詳しくはお近くの社協各支部までお問い合わせください。



資金の種類	教育支援費	就学支度費
貸付限度額	高校/月35,000円以内 短大/月60,000円以内	高専/月60,000円以内 大学/月65,000円以内
交付方法	分割交付(6ヶ月単位)	一括交付
据置期間	卒業後6ヶ月以内	卒業後6ヶ月以内
償還期間	20年以内(貸付額で異なります)	20年以内(貸付額で異なります)
使途目的	授業料、学校納入諸経費、参考書、学用品、 交通費、下宿・アパート代(食費は除く)	入学金、制服、靴、鞆、体育着、教科書・参考 書等入学時に一括購入するもの、下宿の敷金等



物品寄付の御礼

弥生カラオケひまわり教室
後藤工(ことたくみ)様より、
カラオケのスピーカーをいた
だきました。

いつも、テイサービスを楽
しい歌で盛り上げてくださり、
ありがとうございます!